

# 研修旅行行程記

## ～瀬戸大橋 30 周年～



↑ 今回のテーマである瀬戸大橋

### 0、はじめに

鉄道研究部では年に1回、研修旅行をします。今年のテーマは「瀬戸大橋 30周年」ということで夏休み中の7月30日～8月2日に四国に行ってきました。ここではその行程記を書かせていただきます。拙い文章だとは思いますが、最後までお読みいただければ幸いです。なお、行程表はこの記事の最後をご覧ください。

### 1、1日目

6時に起きた。着替えをした。朝飯をかきこんだ。家を出た。朝起きてからあったことはこれだけ。しょぼい1時間だ。そして最寄り駅から集合場所の大阪駅へ向かう。予定より1本早い電車に乗った。集合場所の大阪駅の2階に到着。本来の集合時間から少し遅れて全員集合。今年の研修旅行が始まった。

まずは新快速で姫路まで乗る。ラッシュの時間から少しずれたのか、皆座れ

ていた。筆者らは友達と喋って1時間をしのいだ。

姫路につくと、播州赤穂行きの電車に乗り換える。ここでも筆者は座れた。ぼーっと窓から見える田んぼの景色を眺めていた。特に書くことはない。寝ている部員さえいたほどだ。そうこうしているうちに相生に到着。連絡橋を渡り、向かいのホームに止まっている岡山行きの列車に乗る。だが、この電車がとても混んでいて、ほぼ皆座れなかった。4両という短い列車だが、たくさんの人が乗っていた。筆者は友人と喋ったり、窓の景色をみたりして時間つぶしをしていた。

いつの間にか1時間が経ち、岡山に到着。少しの撮影時間の後、昼食の時間に。今回の旅行でも、ご飯を食べるときは「ご飯班」という、何人かのグループに分かれて食べることになっている。我々のグループでは、今回の旅行で主に四国に行くことから、「オールうどんチャレンジ」をすることに。That Sounds Great じゃん。

↑◎顧問先生

岡山でうどん?!→

岡山駅内のうどん屋で昼食を済ませ、つぎは岡山→茶屋町→宇野と移動した。この間ほんとに何もなかったのが割愛。

宇野からはフェリーに乗って高松港まで行く。フェリーの待ち時間が1時間ほどあった。近くの博物館に行った人もいれば、筆者のように涼しい待合室でくつろいでいる人など、皆がいろいろな時間の過ごし方をしていた。ようやくフェリーが宇野港に到着。我々が乗った船は、大きな車ごと積載できるとても大きな船で、地域住民の足になっているなど感じた。



高松までのおよそ1時間、ほぼみんな、屋上の展望デッキに出て景色を眺めたり、風を感じたりしていた。甲板にはかなりの風が吹いており、風圧で髪型が崩壊してしまっている部員もいた。

そうこうしているうちに高松に到着。高松は思ったより暑かった。

潮のにおいがしたとかそういう問題ではなく、普通に暑い。筆者は帽子を持ってきていなかったのだが、持ってきておいた方がよかったと感じた。めちゃくちゃ暑い。日陰の少ない中高松の街を歩き続け、本日、明日と連泊させていただく、高松センチュリーホテルさんに到着。その後、夕食を食べに、高松駅前のビルである、高松シンボルトワーへと行った。だが、ここで私は衝撃の光景を目にしてしまう。

人 が い な い

タワーの中央の中央階段はおろか、駅ビル周辺、タワー内にまでほぼ人がいなかったのである。連日の暑さが原因なのか、過疎のせいなのか、原因はわからないが、なんか見てはいけないような光景を目にしてしまったようだ。まあ、そんなことはさておき、夕食を食べよう。目的地はもちろんうどん屋。我々は高松で琴平うどんを食べましたおいしかった（語彙力のNASA）→

その後、ホテルに到着し、少しのミーティングを済ませた後、1日目が終わった。

移動だけの1日目だったが、とても疲れた。これが普段の運動不足の結果なのかもしれない。



## 2、2日目

6時30分ごろにホテルのアラームで目が覚めた。筆者は3人部屋にいたため、他の2人を起こして、7時半ごろに朝食会場へ向かった。朝食はバイキング方式で、とてもおいしかった。朝からうどんを食べている部員もいたが、筆者にはそれがなかなかできなかった。なぜなら朝からうどんは重いと感じたからだ。

我々一行はまず、高松駅へ向かって、列車の撮影を行った。しおかぜやアンパンマントロッコなど、さまざまな車両を撮影でき、とても楽しかった。

高松から坂出駅へ向かい、そこからバスに乗車。瀬戸大橋記念公園へと向かった。

館内では瀬戸大橋建設時の様々な秘話など、さまざまな情報が展示されており、とても勉強になった。

瀬戸大橋を間近で眺められる屋上からは、橋を通過する特急列車などを撮影したり望遠鏡から対岸を眺めたりした。

その後、記念館から坂出駅へとバスで戻り、坂出駅周辺で昼食をとることに。

しかし、ここで問題が。なんと、駅前のイオン以外にお店がないのだ。商店街は閉まっており、とにかくすごかった（語彙力）。というわけでイオンの中に入っていた店に入る。うどんがなかったため、ラーメンを注文。

【悲報】オールうどんチャレンジ、2日目で終了 [www](http://www) などといった会話をしていた。

しかし、ここで問題が。商品が全くこない。坂出駅集合時刻の 20 分前になっても商品がこず、とても焦った。早く来い、早く来い、早く来い。確かに、他のお客さんもたくさんいたため仕方ないのだが、このときはみんな焦っていた。集合時刻 15 分くらい前になってようやく商品が到着。麺を胃の中に押し込み、駅まで走って、集合時刻には何とか間に合った。よかった。



ここからは JR に乗って高松駅にまず戻り、高松琴平電気鉄道（以下ことでん）の高松築港駅まで歩いたのち、少しの撮影時間の後、仏生山という駅までことでんに乗車。仏生山駅にことでんの車両検査場があることから、ことでんへの取材がこの駅から始まった。ことでんについては、[こちら](#)をご覧ください。

ことでんの社員さんからことでんによる駅開発についての話を受けたのち、仏生山車庫へと案内された。中では検査場の設備についてとても丁寧に解説を受けた。

それだけでも十分ありがたいのだが、なんと我々はことでんさんのご厚意により検査中の車両内へ案内させてもらうことに。取り外された座席や、様々な部品を拝見させてもらえただけでなく、運転席へも入らせてもらった。そのほかにも、案内をしてくれたことでんの社員さんがとてもわかりやすい、そして面白い話をしてくださり、本当に楽しかった工場見学だった。

仏生山駅からは栗林公園駅までことでんに乗り、栗林公園駅前にあることでんの本社へ取材させてもらった。

そこでは、ことでんに関するさまざまな話や、話をしてくださった方がことでんの運転士をしていたころの興味深い話などをしてもらった。最後の質問コーナーでは部員たちがたくさんの質問をしていた。中には社員さんから面白い質問であると言われたようなものまで、たくさんの質問があった。合計3時間も琴電さんに取材をさせていただいた。我々のために貴重な時間を割いてくれた琴電さんに感謝。栗林公園駅からは高松築港駅まで琴電に乗り、そこからホ



テルへいったん戻った。

夕食の場所はまた駅前ビル。ここでもうどんを食べるのかと筆者は思っていたのだが、諸事情により鶏肉の店へ。どうやらオールうどんチャレンジを諦め、オール名産品チャレンジをすることにしたようだ。一応鶏は香川県の名産品らしいので。筆者はカレーを注文。もはや麺類ですらない。普通においしかった。

その後、ホテルへと戻り、2日目が終わった。

### 3、3日目

朝起きて着替えて飯食ったとこまでカット（ほんとに何も起こらなかったから）

今日は主にことでんを乗りつくすことがメインである日。志度線と琴平線のほぼすべてに乗る

まずはJR 高徳線で高松から志度へ。のどかな景色で心が癒された。

琴電志度～瓦町間はことでんで。こちらものどかな田園風景が続いた。ところで書いていなかったが、ことでんというものはよく揺れる。踏切を越えるときなどはとても車両が上下に揺れる。この列車では筆者は寝られないだろと勝手に考えていたが、地元のひとはそんな琴電でも寝ていた。ほんとうに、あそこまで揺れる車両でよく寝られるな、とただただ感心するばかりであった。



というようなしょうもないことを考えているうちに瓦町駅へ到着。駅の連絡橋に動く歩道があり、都会のように感じた。実際瓦町周辺が高松で最も栄えているらしいので当たり前のことと言われればそうだが。

そうこうしているうちに琴電琴平行きの電車がやってきた。車内は平日の昼間なのにもかかわらずかなり混んでいたため、ほとんどの部員が座れず立っていた。しかし途中の綾川駅でかなりの乗客が下車。その駅は先日の取材でことでんさんから伺ったことでんによる街開発で発展した駅だったので、実際に街開発の効果が感じ取れた。すごいと思った（語彙力）。なんだかねで琴電琴平駅へ到着。ここからは多度津駅へ向かうため、JR で向かった。10分ほどの乗車で多度津駅に到着。この多度津駅周辺で昼食をとるのだが、ここで問題が。

【悲報】店がないし時間もない

本当に店がなく、駅前のコンビニで昼食をとることに。コンビニ弁当で昼食を済ませたのち、JR 四国多度津工場へ多度津駅から歩いた。

多度津工場では主に、工場を見学させてもらった。実際に車両を点検しているところを間近で見れたりして、仕事場をかなり見学できた。多度津工場内には明治時代から使用されている建物もあり、現在のような鉄骨でなく、木材で屋根を支えている車庫など、鉄道面以外にも様々なものを見学できた。工場見学の際、JR の社員さんが施設内を案内してくれたのだが、工場内では声が聞こえにくいということで、トランシーバーを用いて解説などを受けながら工場内を見学させていただいた。先進的だなと感じた。



その後、質問コーナーや館内の見学が行われたのち、多度津工場の見学は終了した。

その後、我々は多度津で駅に戻り、1 時間ほど駅で撮影した。琴平駅へと 1 時間ほどはやく向かうことに。予定が少し早まったようだ。少し乗車すると琴平駅へ到着。

琴平駅から少し歩き、我々が泊まらせていただくこんびら温泉湯元八千代さんへ到着。部屋に荷物を置いてしばらくしたのち、夕食を食べに出た。さて、琴平といえば観光地である。実際筆者も飲食店くらいどこにでもあるだろうと思っていた。いや、誰もが思うだろう。しかし、付近ではそもそも営業している店自体が少なく、店探しに非常に苦労した。途中地元のおじいさんに地元の店まで連れて行ってもらったが、営業時間が 3 時までだった。結局地元の商店街で営業していた店に入ることに。その後はホテルに戻り、風呂に入った。

今回泊まらせていただいた八千代さんは露天風呂が有名ということで、何人かは露天風呂へと行っていた。ただ、筆者は露天風呂にあまり興味がなかった

ため、部屋でゴロゴロしていた。これで3日目は終わった。

#### 4、4日目

朝、6時半くらいに目が覚めた。そこから着替えなどを済ませたのち、朝食会場へとむかった。八千代さんの朝食はとても豪華で、我々中学生なんかが食べてよいのかという感じのものだった。おいしい朝ごはんをいただいたのち、我々はホテルを出、金刀比羅宮に登ることに。

一生に一度は金比羅参りということでせっかくだから一番上（奥社）まで登ってやるわい！ ということで奥社まで登ろうと決めた。

途中で自販機に遭遇。金比羅では道中に自販機はないということなので、ここで飲み物を買うことに。熱中症も怖いもんな。清涼飲料水を買おうと商品を探したところ、「？」という商品が。せっかくだから買おうということで筆者を含め3人が「？」の商品を購入。筆者はジンジャーエール、他の2人は炭酸飲料とオレンジジュースが当たっていた。コーヒーとかではなかったのでもあいいかと思いつつ、清涼飲料水も購入した（無駄遣い）。



ようやく山のふもとに到着。ここから奥社までは階段がおよそ1300段もあるのだが、気合でいけるだろ！と念じつつ、階段を上り始めた。途中にあった店では杖がレンタル販売されていた。筆者は荷物になると嫌だという理由から買うのをやめたが、この時に買っておいてもよかったかもしれない。後々後悔するのをまだこの時の自分は知らなかった。



結構階段を上っていくと少しずつ疲れてきた。しかもその疲れとは、単に階段を登った分の疲れもあるのだが、それ以上に暑さによる疲れもあった。日陰もあまりなかったため、非常に辛かった。大門に着いたところで皆息切れ。これは運動不足云々の話ではなく、純粹な疲れ。水分補給をした後、本宮へと歩きだした。暑い。早く着いてくれ。筆者にはこのとき、この感情しかなかった。このせいか、この辺りの記憶が少し吹っ飛んでいる。

なんとか本宮へ到着。ここには大きい氷の塊が置いてあり、生き返った感じがした。ここで一休みした後、奥社へ出発。筆者と副部長との2人で歩き出した。お互い疲れているのか、それともそもそも喋ることがないのか、お互いほぼ喋らず無言でひたすら歩き続けた。

ここでも筆者記憶が吹き飛ぶ。何度か段差でつまづいた。それくらいしか記憶にない。どれだけ辛いかわかるだろう。そして、ひたすら歩き続けて30分くらい経ったところで奥社に到着。既に何名かの部員が到



着していた。奥社からの景色は平野などが見渡せ、とてもきれいだった。おみくじなどを買って少し休憩したのち、下山開始。

だが、ここでも試練が。階段を下って奥社から降りるのだが、階段は登るときよりも降りるときの方がつらいのだ。階段を1段下るときに足に負担がかかる。筆者は1段飛ばしで途中まで下りていたのだが、どっちにしる痛いので最後には普通に下りていた。足への痛みもあるが、のどもかなり渴いていた。そんなこんなで、本宮に着くまで今回も記憶があまり残っていない。本宮では、表記はしていないがお水やお茶を買うことができるらしいので、スポーツドリンクを購入。200円もしたが、そんなことを気にしている場合ではなかった。とても喉が渴いていたのでスポーツドリンクを飲んだ瞬間、生き返った気がした。みなさんも金刀比羅宮に行くときはペットボトル5本ぐらい持っていきましょう。本当に脱水になります。まあ夏に行ったからね。その後は無事にふもとまでかえって来、そこで昼食をとった。昼間はかなりの店が営業しており、筆者らは地元のうどん屋に入店。本場のうどんなのでかなりおいしかった。

その後しばらくした後、ホテルで荷物を受け取り、JR 琴平駅まで歩いた。琴平駅からは特急南風に乗り込み、岡山駅へと向かう。1時間ほど乗っていたが、これまでの研修旅行3日分の疲れ、金刀比羅宮に参拝してきた分の疲れのせいで筆者も瀬戸大橋を渡り切ったあたりから寝てしまい、記憶がない（こいつ何回記憶なくしてんだよ）。起きたら岡山駅到着直前だった。岡山駅に到着。ここで部員一人が離脱。ここから広島へと行くらしい。さて、岡山駅から新大阪まで新幹線に乗って帰るのだが、新幹線の時間まで2時間ほどあったため、撮影時間+岡山駅散策の時間に。筆者らは、暑くて疲れているので撮影する気が起こらなかったのが駅構内の喫茶店で休憩。涼しい店内で1時間ほど時間を潰していた。暑い中頑張って撮影をしていた部員が大半だったので、なんか恐縮だった。次の1時間は駅の外で過ごす。皆が路面電車の撮影をしている中、筆者らはこれまた暑いという理由から駅散策をしていた。特に駅前にあった水槽の周りにはたくさんの部員が集まって時間つぶしをしていた。涼しかったしね。岡山駅の正面口すぐにあるので興味のある方は一度行ってみたいはかがでしょうか。

さあ、なんだかんだで1時間が経過。新幹線乗り場に我々は向かった。乗るのは岡山駅17時3分発のさくら558号。新大阪までは1時間ほどだ。

もうここまでくると皆疲れており、筆者もここでまたも記憶をなくす。気が付くと新大阪到着直前。4日もあった研修旅行もここで終わりか、などと考えているうちに新大阪駅に到着。その後改札の外で解散をした。2018年の研修旅行はここで終わった。

## 5、終わりに

ここまでお読みくださり、ありがとうございました。今回の研修旅行は大きなハプニングなどがなく、大変良い研修旅行となりました。いかがでしたか？この記事を書いていることや、筆者の文章力のせいで読みにくいところがあったかもしれませんが、お楽しみいただけでしょうか。

最後に、今回の研修旅行プラン作成、取材交渉をしてくれた研究班、顧問の皆さま、そしてこちらの取材に応じていただいた高松琴平電気鉄道、JR 四国多度津工場の皆さま、この場を借りて感謝の念を表させていただきます。ありがとうございました。

写真は全て筆者、部員撮影です。

2018 年度研修旅行 行程 最終版

1 日目			
大阪		集合	8:30
	発	JR 神戸線新快速 姫路行	9:05
姫路	着	↓	10:08
	発	JR 山陽本線 播州赤穂行	10:09
相生	着	↓	10:28
	発	JR 山陽本線 岡山行	10:29
岡山	着	↓	11:38
	岡山駅で撮影(昼食含む) 11:40~13:30		
		集合	13:30
	発	JR 瀬戸大橋線 琴平行	13:45
茶屋町	着	↓	14:06
	発	JR 宇野線 宇野行	14:11
宇野	着	↓	14:34
	発	徒歩	14:34
宇野港	着	↓	14:40
	フェリー乗り場周辺で散策(フェリー撮影可) 14:40~15:15		
		集合	15:15
	発	四国フェリー 高松行	15:45
高松港	着	↓	16:50
	発	徒歩	16:55
高松	着	↓	17:05
	高松駅で撮影 17:10~17:45		
		集合	17:45
高松駅周辺で宿泊 高松シンボルタワー(駅前ビル)に行って夕食・夜景観賞			

2 日目			
高松	発	JR 予讃線 多度津行	9:14
坂出	着	↓	9:51
坂出駅前	発	坂出市営バス 東山魁夷せとうち美術館前行	10:10
瀬戸大橋	着	↓	10:27
記念公園	瀬戸大橋記念公園・記念館 観光 10:30~12:20 (途中 30 分ほどお 話)		
		集合	12:20

	発	坂出市営バス JR 坂出駅前行	12:27
坂出駅前	着	↓	12:46
		坂出駅周辺で昼食 12:50~13:40	
		集合	13:40
坂出	発	JR 快速マリンライナー33号 高松行	13:50
高松	着	↓	14:05
	発	徒歩	14:05
高松築港	着	↓	14:13
	発	高松琴平電気鉄道琴平線 琴電琴平行	14:15
仏生山	着	↓	14:47
	発	徒歩	14:47
<b>高松琴平電気鉄道 取材 15:00~18:00(途中で栗林公園駅の本社へ向かう)</b>			
栗林公園	発	高松琴平電気鉄道琴平線 高松築港行	18:05
高松築港	着	↓	18:13
高松駅周辺で宿泊 高松シンボルタワー(駅前ビル)に行って夕食・夜景観賞			
3日目			
高松	発	JR 高德線 引田行	8:33
志度	着	↓	9:02
	発	徒歩	9:02
琴電志度	着	↓	9:07
	発	琴平電気鉄道志度線 瓦町行	9:20
瓦町	着	↓	9:55
	発	琴平電気鉄道琴平線 琴電琴平行	10:05
琴電琴平	着	↓	11:02
	発	徒歩	11:02
琴平	着	↓	11:12
	発	JR 土讃線 多度津行	11:34
多度津	着	↓	11:47
		多度津駅周辺で昼食 11:50~12:40	
		集合	12:40
	発	徒歩	12:40
<b>JR 四国多度津工場 見学 13:00~15:30</b>			
多度津		多度津駅で撮影 15:40~16:50	
		集合	16:50
	発	JR 土讃線 琴平行	17:04

琴平	着	↓	17:16
琴平駅周辺で宿泊・夕食			

4 日目			
金刀比羅宮	金刀比羅宮 観光(昼食・お土産タイム) 9:30~13:00		
		集合	13:00
	発	徒歩	13:10
琴平	着	↓	13:30
	発	JR 特急南風 14 号 岡山行	13:45
岡山	着	↓	14:41
	岡山駅で撮影・お土産タイム 14:45~16:30		
		集合	16:30
	発	JR 新幹線さくら 558 号 新大阪行	17:03
新大阪	着	↓	17:48
		解散	18:00